

第10回 界面スピノ軌道研究会

第2回界面多極子研究会

～界面スピノ軌道物性の新展開に向けて～

日時: 2019年8月1日(木)-8月2日(金)

場所: 分子科学研究所 研究棟201号室 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町西郷中38

主催: 科研費基盤研究S

界面スピノ軌道結合の微視的解明と巨大垂直磁気異方性デバイスの創製 [リンク](#)

共催: 豊田理化学研究所 特定課題研究 界面多極子プロジェクト

先端磁気分光と理論計算の融合研究:「界面多極子相互作用」が拓く新しい学理

プログラム

8/1 13:30-18:15 (一人あたり30分程度)

三谷 はじめに 10分

岡林 界面多極子物性について(概要説明) 10分

岡林 Fe/MgO PMA界面のXMLDIによる磁気異方性、四極子モーメントの導出

三浦 四重極子と結晶磁気異方性に関する第一原理計算

三谷 Spin-orbit locking induced PMA

畑田 Scissors modes and spin-orbit locking in rare earth crystals with uniaxial symmetry

田中 TBA

芝田 TBA

増田 スピン反転項と界面電子状態の相関探索

辻川 磁気異方性とその電界制御に関する第一原理的研究

分子研極端紫外光実験施設(UVSOR)見学

意見交換会: 名鉄東岡崎駅近く「[颯々](#)」 19:00から

8/2 10:00-11:45

飯田 La-capを使用したスパッタ成膜によるFe/MgO垂直磁気トンネル接合

名和 Co基ホイスラー合金におけるスピン分極率の温度依存性に関する第一原理計算

介川 単結晶磁気トンネル接合におけるトンネル磁気抵抗比の大きな振動現象

午後には、同場所にて界面多極子に関する勉強会を予定しております。(16:00ぐらいまで)

